

ふるさとを題材にした「邑南町の映画を作ろう！」

邑南町公民館連絡協議会

1 邑南町公民館連絡協議会の概要

邑南町内には 12 の町立公民館がある。その 12 の公民館が連携して邑南町全域を対象に地域課題解決のための社会教育活動を年間 12 回程度行っている。

2 事業の概要

(1) 事業のねらい

- ・ 5年間取り組んだ地域力醸成プログラムを活かした事業
- ・ 自主性や協調性を養う
- ・ リーダーの育成
- ・ 地域ボランティアの養成
- ・ ふるまい向上

(2) 具体的な取組

邑南町公民館連絡協議会で5年間取り組んだ実証！「地域力」醸成プログラムで育成した「ふるさと学芸員」を介して「地域のお宝の再発見し、我がふるさとを愛する心を持つ子どもを育てる」という教育方針に基づき、今年度は平成 26 年 8 月 20 日～21 日 1 泊 2 日の日程で町の指定文化財「旧山崎家住宅」をフィールドとし小学 4 年生～6 年生 17 名が参加した。テーマは地域のお宝を活かした映画づくりを行った。

その映画を作る事で他地域の学校の子どもたちと過ごすことにより自主性と協調性を育てる事も目的とした。古くからここ日貫地区に伝わる「旧山崎家の庄屋」の伝説をふるさと学芸員から聞き、地元の「おおなんケーブルテレビ」の指導のもとに、わずか 8 時間しかない中でセリフを覚えたり、

カメラワークを学んだりと奮闘し自分達が選んだ役割をきちんと果たしていた。

2 グループの汗と涙の結晶の作品ができあがった。

また宿泊について、例年は集団宿泊であったが今年度は地域の子どもは地域で育てるという方針のもと農家民泊へお願いした。よその家庭で学ぶ「ふるまい向上」、様々なマナーや気遣いを学ぶ事ができた。

2 日目はおおなんケーブルテレビが編集した 2 本の映画の上映会を行い、2 日間を振り返った。



お百姓さんのシーン

3 事業の成果と課題

(1) 成果

グループワークの最中主役がその役の重責に行き詰まり涙する場面があったが、チームの中で声をかけ合い最後まで頑張っ
て無事収録を終えた。どうやったら主役を助ける事ができる
か？自分達で意見をまとめ、なんとかみんなできやり遂げよう
とする姿に感動を覚えた。困った人を助けることを通してチーム
の協調性がしっかり身についた。地元の劇団の方々に子どもた



撮影の様子

ちのサポートをお願いした。自分たちの孫の世話をするように子どもの見守りをしてくださった。地域を巻き込んだこの体験活動はおおなんケーブルテレビの制作番組として町内に一斉放送された。「子ども達の頑張りに涙が出た。」と多くの町民が感動し、感想をもらった。町民の情報の共有が成功のポイントである。誰が何を何のためにしているのか、到達点はどこか、情報の共有が地域を巻き込むことになる。

地域力醸成プログラムで取り組んできた事が少しずつ成果を表している。

(2) 課題

参加者を増やして行きたい。短時間での取組が子どもたちに負担にならないよう余裕のある日程を組む必要がある。

4 今後の取組等

今回参加した子どもが10月に行われた「しまね映画塾」に参加していた。

今回の取組は非常に評価が高く今後も「映画づくり」を1つのツールとし、地域のお宝を地域の人を巻き込んで後世に語り継いで行くという取組をして行きたいと思う。

また、保護者向けのアンケートを行い、参加した子どもの変化について情報を得る必要がある。

この活動は一過性のイベントではなく継続的に長く開催して行きたい。5年生あるいは6年生になったら映画づくりに参加できるんだという子どもたちにとって楽しみな息の長い企画になればと思う。



農家民泊での夕食の様子



みんなで記念撮影